

●発表日：令和2年(2020年)3月25日

コミュニケーション支援ボード(避難所でのお知らせ絵ボード等)と 支援ガイドができました

このたび、障害者、外国人、高齢者などが避難所で過ごすときに、文字や絵を指さすことで、情報を伝えやすくするための「コミュニケーション支援ボード」と、配慮の必要な方々をサポートするポイントやコミュニケーション支援ボードの使い方をまとめた「支援ガイド」を作成しました。(支援ボードは日本語・英語・中国語・ベトナム語 対応)

1 コミュニケーション支援ボードの種類

●避難所でのお知らせ絵ボード A3サイズ 横 両面

避難所で多く取り上げられる事柄(場面)について、あらかじめ文字と絵で表現したボードです。音声による情報伝達の場合(特に施設内でアナウンスされた場合)は、その情報はすぐに消えてしまいます。「避難所でのお知らせ絵ボード」は、文字と絵によって「現在起きている事柄(場面)」について、状況を伝えることができます。



●フェイススケールボード(災害・救急) A3サイズ 縦 両面

どうしたのか、それは体のどこの部分で、いつからなのか、顔の表情や症状を表した絵を使って自分の体の調子を伝えるためのボードです。音声によるコミュニケーションが困難な方に対して、自分の気持ちを伝えることができます。



●避難者受付ボード A3 横 両面

「避難者受付ボード」は、避難者の受付をするときに「情報交換が必要とされる事柄」について取りまとめたボードです。



●伝えるメッセージボード「わたしの伝えたいこと」 A4 縦 両面

「指文字ボード」は、指文字やひらがなにより、他のボードで表現しきれない情報を表現できるようにするためのボードです。

「わたしの伝えたいこと」は、避難生活などにおいて、自分の気持ちを伝えるためのボードです。



● 「コミュニケーション支援ボード使い方ガイド」A3 縦 両面2つ折り

避難所などで障害者、外国人、高齢者など配慮の必要な方々をサポートするポイントやコミュニケーション支援ボードの使い方をまとめたガイドです。

2 コミュニケーション支援ボードのポイント

- “絵” と “やさしい日本語” を使って分かりやすい表現にする。
- 市内で多く在住する外国人のために、英語・中国語・ベトナム語を取り入れる。
また技能研修生として在住する外国人が多いことから、家族を表す表記の中に「雇用主（日本のお父さん・お母さん）」という表現を入れる。
- イラストを市職員が描き、親しみを感じてもらえるような手に取りやすいものにする。
- フェイススケールボードは、市内に配備している救急車内にも配置する。
- 平時から使い方ガイドと一緒に窓口などに設置し、コミュニケーション支援ボードの周知啓発を図る。

3 配置場所

各避難所（風水害・地震）

市役所、赤羽根市民センター、渥美支所、消防署、社会福祉協議会、

たはら国際交流協会など

※市 HP からダウンロードもできます

（担当）防災対策課 主査 渡辺加奈子 電話（0531）23—3548